



FUKUCHI TOWN HISTORY

平成

<p><b>1992</b> (平成4年)</p> <p>●赤池町が財政再建準備団体に指定される(H13年完了)</p>  <p>道路補修する町職員</p>	<p><b>1991</b> (平成3年)</p> <p>●車いすこまが国際交歓会が始まる</p>  <p>海外選手との交流</p>	<p><b>1989</b> (平成元年)</p> <p>●平成筑豊鉄道が金田町に本社を設置し営業開始</p> <p>○消費税3%導入</p>	<p><b>1986</b> (昭和61年)</p> <p>○バブル景気(〜1991)</p>  <p>赤池出身・田中六助氏</p>	<p><b>1985</b> (昭和60年)</p> <p>●元内閣官房長官・通産大臣・田中六助氏が死去</p> <p>○東京デイズニールランド開園</p>	<p><b>1983</b> (昭和58年)</p> <p>●上野焼が国の伝統的工芸品に指定される</p>  <p>上野焼 熊谷紅葉氏</p>	<p><b>1982</b> (昭和57年)</p> <p>●方城町が財政再建準備団体に指定される(H4年完了)</p>	<p><b>1981</b> (昭和56年)</p> <p>●主要地方道「田川―直方バイパス」完成</p> <p>●金田町が財政再建準備団体に指定される(S62年完了)</p>	<p><b>1972</b> (昭和47年)</p> <p>○沖繩が日本に返還される</p> <p>●町の公共施設が次々に完成</p>  <p>方城町民プール</p>  <p>赤池町民会館(写真右)とボタ山</p>	<p><b>1971</b> (昭和46年)</p> <p>●上野焼が北九州国定公園に指定される</p>  <p>白糸の滝(上野焼)</p>	<p><b>1970</b> (昭和45年)</p> <p>●九州日立マクセル株式会社操業開始</p> <p>○日本万国博覧会(大阪)開催</p>	<p><b>1965</b> (昭和40年)</p> <p>●明治鉱業赤池鉱業所閉山</p>	<p><b>1964</b> (昭和39年)</p> <p>●東京オリンピックの聖火が赤池・金田・方城を通る</p> <p>○東京オリンピック開催</p>	<p><b>2018</b> (平成30年)</p> <p>●福智町ふるさと納税寄付額第1位に</p>	<p><b>2017</b> (平成29年)</p> <p>●日本航空と包括連携協定を締結</p>	<p><b>2016</b> (平成28年)</p> <p>●赤池支所を改修し、図書館・歴史資料館「ふくちのち」開館</p>	<p><b>2015</b> (平成27年)</p> <p>●西日本シティ銀行と地方創生に関する包括協定を締結</p> <p>●沖縄県中城村と兄弟都市提携調印</p> <p>●トリアルカンパニーと立地協定・災害時物資供給協定を締結</p>	<p><b>2014</b> (平成26年)</p> <p>●7月24日を「福智町防災の日」に制定</p>  <p>平成21年7月中国・九州北部豪雨</p>	<p><b>2013</b> (平成25年)</p> <p>●福智スイーツ大茶会初開催</p>	<p><b>2012</b> (平成24年)</p> <p>●福智名物の「方城すいとん」を復刻</p>  <p>方城大非常が起源</p>	<p><b>2011</b> (平成23年)</p> <p>●福智町出身のIKKOさんが福智町観光大使に就任</p>  <p>美容家のIKKOさん</p>	<p><b>2008</b> (平成20年)</p> <p>●マクセル赤レンガ記念館が国の近代化産業遺産に認定</p>	<p><b>2007</b> (平成19年)</p> <p>●皆川ヨ子さん(上野)が114歳で世界最高齢者となりギネス認定される</p> 	<p><b>2006</b> (平成18年)</p> <p>●赤池町・金田町・方城町が合併して福智町誕生</p> <p>●全国広報コンクールで2度目の内閣総理大臣賞を受賞</p>  <p>きらびやかな夜の電飾山笠は圧巻</p>	<p><b>2002</b> (平成14年)</p> <p>●上野焼四百年祭開催</p> <p>●金田・神崎山笠競演会を公式開催</p>
---	---	---	--	--	--	--	--	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	--



**一年の計に願う平和な次代**

大正時代から現在に至るまでの1世紀で、日本や世界は劇的に変わりました。電話を持ち歩き、インターネットでも検索できる時代がくることを百年前には想像すらできなかつたでしょう。わたしたちは時代を担ってきた先人たちの汗と涙が、現代の生活を築いてきたことを忘れてはなりません。

戦争を経て「平和」の思いが込められた「平成」の時代を超え、新たな時代へと向かう今年。わたしたちは平和の尊厳を引き継ぎ、未来を築く大切な役割を担っています。

趣味はグラウンドゴルフ 開業にカラオケ



**佃 俊美さん**  
(伊方)  
大正14年生まれ/93歳

**激動の時代を経て得た幸せ**

徴兵制で久留米で入隊し、台湾で終戦を迎えました。帰国して再会した時の両親の表情が忘れられません。戦後の日本は180度変わりました。高度経済成長を経て、今は便利な世の中に。全てに恵まれた幸せな時代だと思います。

**東京で7万人の学生見送る**

東京の文化服装学院へ進学。昭和18年の学徒出陣では明治神宮外苑競技場で出兵する学生を見送りました。東京大空襲のあと帰郷。今でもテレビで戦争当時の様子が流れると、あのときの光景がよみがえり、涙があふれます。

今は孫やひ孫の成長が楽しみ



**石谷 美代子さん**  
(伊方)  
大正14年生まれ/93歳